



# 3月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



## あなたは可能性にあふれている

園長 立石 晃子

園門の桜の木の花芽が膨らみ始めました。一足先に花壇の菜の花が咲き始め、幼稚園に早く春が来るようにと呼び込んでいるかのようです。

いよいよ3月、幼稚園が1年を終えます。1年前、初めて保護者の元を離れ、自立の第一歩を迎えた3歳もも組の子供たち...今は友達や先生と遊ぶことが大好き、友達が困っている様子を見るとハンカチを出したり、なぐさめたり、先生を呼びに行ったりと、友達のために自分のできることをしようとする姿が見られます。進級を経験し、お兄さんお姉さんになった4歳たんぼ組の子供たち...年度途中で次々と新しい友達が増えていきました。友達が増えるたびに優しく迎え、また新しいお友達が来ると優しく迎え、優しさの数珠繋ぎが見られました。「どうしたらいいのかわからない。一緒に(仲良く)遊びたいんだよ。」という声が聞かれるほど、友達と思いが違ったときに何とかしようとする姿が見られます。そして幼稚園で一番大きくなった5歳ばら組の子供たち...今でも進級初日、新しい担任から黄緑のクラスカラー帽子をもらい、大きくなった喜びを感じていた姿が印象的です。様々な役割を任せられ、友達と考えを出し合い相談することが増え、この1年でとてもたくましく、自信がもてるようになりました。先日の「だいにアイランド」と称した遊園地づくり(共通の目的)では、やってみたいことを出し(自分事として主体的に捉える)、何をつくるか相談し(対話)、その中で自分ができることを見出し(役割と責任)、「ここやるね」「ここやって」「できないー」「まって！」と進めたり手伝ったりしながら取り組む(他者との協力)という、「協同性の育ち」が見られました。

池上彰さんが監修した『なぜ僕らは働くのか 君が幸せになるために考えてほしい大切なこと』の中に、「自信をもつことが未来を切り拓く」と題された箇所があります。「いまのあなたはどうでしょう? やりたいことがあっても自分には無理だ、失敗したくないと、心にブレーキをかけていませんか? そんな人は、まず自分の力や可能性を信じてみましょう。(略)次に、できることをやりましょう。(略)」一方で、「できないことは人に頼ればいい。あなたはあなたのできることを、やりたいことで、いつか誰かを助けてあげましょう。」とも書かれています。そして「あなたには無限の可能性が 있습니다。あなたはなんにだってなれます。」と結んでいます。自信をもつこと、一歩踏み出すこと、助けを求めること...この土台をご家庭と幼稚園で一緒に育んできました。子供たちがさらに経験を深め、これからの人生を豊かに過ごすことを願っています。

本年度も、本園の幼児教育へのご理解とご協力を賜り感謝いたします。ありがとうございました。

## 楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

### < 3 歳もも組 >

#### みんなとあそぶのがたのしいな！たんぽぽ組ももうすぐだね

入園してからあっという間に3月になりました。初めは「お母さんと一緒にいたい」という気持ちが強かった子ども、今では「明日は幼稚園が休み、悲しい」と言うようになりました。幼稚園に毎日行きたいという気持ちの変化を嬉しく感じています。初めは教師とともに行っていた身支度や片付けも「ひとりでするよ」と自信満々の笑顔で答えるようになり、自信もつきました。「教師と遊びたい」という気持ちから、「友達と遊びたい」という気持ちにも変化し、「あぶくたった」や「しっぽとり」等みんなで遊ぶことが楽しい、と思えるようにもなりました。

3月は、お別れ会や、修了式など、いよいよ年長組を送り出す準備に入ります。お別れ会では、「ありがとう」の気持ちを込めて作ったプレゼントを渡したり、感謝の気持ちを込めて歌を歌ったりします。修了式にはみんなで花道をつくり、保護者と一緒にばら組を送り出します。もも組での生活もあと少し、楽しいたくさんの思い出を胸に進級できるようにします。

### < 4 歳たんぽぽ組 >

#### ばら組さんありがとう！たんぽぽ組のみんなで頑張るよ！

寒い日が続いていますが、たんぽぽ組の子供たちは元気いっぱい園庭で助けオニのオニごっこを楽しんでいます。鬼に捕まらないように巧みに逃げたり、捕まったお友達と陣地に助けにいったりする姿があります。「○○ちゃんが助けてくれたよ。」「頑張って逃げていたよ。」「オニが怖くても友達を助けないと！」と遊びながら、友達に助けてもらう嬉しさを感じたり、学級でも「○○ちゃんのこんなところが素敵だったね」と友達の良さに気付けるようにしたりしています。

2月に入り、誕生会の司会や当番活動を年長組に教えてもらいながら一緒に行っています。「4月になったらばら組さんになるんだよ。」「なんでも出来るのが年長さんなんだ。」「みんなの大切なものを準備して、お世話するんだよ。」と、年長さんに教えてもらったことを、丁寧にしていこうとする様子があります。3月に入ると、年長組から当番活動などを引き継いで、たんぽぽ組が行っていきます。友達と一緒に協力し合いながら行っていきます。

### < 5 歳ばら組 >

#### もうすぐ1年生！わくわくとドキドキの複雑な感情...残りの園生活も楽しもう！

修了に向かう様々な活動の中で子供たちは、一年生になるうれしい気持ちと、ばら組が終わってしまう寂しさや両方を感じ、時にはわくわくと小学校の生活を想像、時には「最後の」という話にしんみり、なんだかとても複雑な気持ちを感じていることが表情から伺えます。

この楽しかった園生活を、保護者の皆様にも分けてあげようと、「だいにアイランド」を企画！どんな遊園地にしようか皆で考え、作るものもほとんど自分たちで考えて、様々な素材を使いながら真剣に作っていました。自分たちのつくりあげたもので、保護者の方が楽しそうに遊んでくださって、子供たちは大満足だったようです。保護者の皆様、ありがとうございました。

さて、園生活も残りわずかとなってきました。3月は、幼稚園生活を振り返ったり、自分たちの成長を感じたりしながら、新しい生活の始まりにも期待がもてるように援助していきます。そして、「幼稚園楽しかった！」という思いをもって修了式が迎えられるよう、友達とたくさん遊び思い出をつくっていきます。おうちの皆様も一緒に、充実した日々を送りましょう。